

2020年度 鈴木秀洋ゼミ（3期）入ゼミ選考手続

（実施プラン個別ゼミ配布 10月25（金）～31（木））

（公開研究室期間 11月5（火）～14（木））

ゼミ募集〆切 15・16日→各ゼミ選考 18（月）～22（金）

合格発表：27日

- ① 鈴木の自己紹介、研究分野、4年生・3年生ゼミ員等の情報については、
HP 鈴木秀洋研究室 <http://suzukihidehiro.com/> 参照のこと
- ② 選考課題として、多くの課題を出し、かつ、丁寧な選考過程を踏む（エントリーシート、課題小論文、面接）のは、入ゼミ後のミスマッチを避けるとともに、「このゼミへの思い」を明らかにしてもらい、入ゼミ後にゼミ員と「真摯に」向き合いたいからである。
- ③ 以下の内容については、あくまで鈴木ゼミ希望者への情報提供の観点から一時的にアップしているものであり、無断転載・アップ等を禁ず。

第1 説明会等の情報提供

1 個別説明会：

①11月5日（火）17時15分～18時、②14日（木）16時20分～17時

2 募集期間中のゼミ：

①3年生ゼミ 10月24・31、11月7・14日（木）2時間目 見学可

②4年生ゼミ 10月23・30、11月6・13日（水）5時間目 見学可

※ゼミ開始冒頭又は終了後（3年ゼミであれば昼休み等）での個別相談可能

※10月24日（木）3、4年懇親会

3 募集期間中の鈴木の専門科目授業：

①11月6・13日（水）地方自治法／②7・14日（木）行政法

③18日（月）災害と法

※授業の開始前又は終了後ゼミの説明可能

4 面接試験（予定・要相談）：

（例）11月18（月）5時間目・6時間目、20（水）6時間目等

第2 選考手続について

- 1 鈴木と一度は会って会話しておく。
- 2 鈴木ゼミに入ゼミを希望する旨、エントリーメールを（遅くとも学部の締切15日・16日と同時に）鈴木宛てに送る
suzuki.hidehiro@nihon-u.ac.jp
①エントリーメールには、氏名・学籍番号とともに、

- 下記鈴木ゼミ専用エントリーシート（A4用紙3枚以上）を添付のこと。
- ②なお、入ゼミ選考として面接を行うので、11月18日（月）～23日（土）までの期間で面接指定が不可の日時を書いておくこと。
- ③可能であれば、この段階で、下記課題小論文3本についても添付のこと。
- 3 11月15日・16日ゼミ募集〆切（危機管理学部あてのゼミ申込をポータルで教学サポート課に送る（学部としてのゼミ募集〆切）
- 4 11月18日（月）～22日（金）の鈴木からの指定日時に個別面接を行う。
各個人の面接指定日前までに下記課題小論文を鈴木のメールアドレスに送るとともに、面接当日には、エントリーシートと課題小論文を持参のこと。

第3 提出課題

1 エントリーシート

※このエントリーシートの形式は自由（文字数・体裁は、常識的に見やすい範囲内であれば自由。「文字」「文章」以外の表現を含めることも可）。分量は（課題小論文とは別にエントリーシートのみで）A4用紙で（表紙除いて）3枚以上。多い分には自由（むしろ加点） **50点**

※【特記事項】自分がこれまで経験したこと、見聞したこと、学習したこと、考えたことを総動員して書き上げること。重複する部分があってもいいので基本的には項目ごとにまとめること。

※【課題の目的】入ゼミ希望者の興味関心、将来展望、意思、意欲を確認し、十分な教育効果が期待できるゼミ運営ができるようにすることを目的とする課題である。

※【採点基準】鈴木と言動・生き方・発信内容を踏まえて、このゼミになぜ入りたいたいか、どれだけ入りたいたいという思いがあるか、また入ってどのように行動するつもりなのかについて力を入れて書くことが評価ポイントとなる。

- ① あなたは、入ゼミに当たり「鈴木秀洋」個人についてどのような情報源・機会からどのような情報を得ようとし、またそれらの情報を基に、鈴木秀洋についてどのような人物だと考えて入ゼミを希望しましたが、ゼミに入ったら、どんな対話・交流を望みますか（逆に望みませんか）。具体的に述べてください
- ② あなたはどのような人物ですか（アピール・分析）、できるかぎり詳細かつ具体的に述べてください（記述の中には、①ゼミでの学習・研究・活動・交流などに関連させて、例えば、ゼミの中で果たし得る役割について、②今頑張っていることについても言及してください。）。
- ③ 上記1・2と関連しますが、あなたはなぜこのゼミに入ることを希望するのですか。このゼミへの思い・やる気について記述してください。
記述に際し、あなたの短期的・中長期的な未来において、このゼミがどのような意味・

意義を持ってくると期待するか。あなたの将来展望（職業含む）を具体的に述べながら考えをまとめてください（例えば、現時点で興味を持っている自らの研究テーマと絡めて、このゼミでこんなことやりたい。又は、こんな人間になりたい、こんな社会を作りたいなど）。

4 これまでの履歴（ライフストーリー）

- ①小・中学校時代（生活・部活・好きだったこと（嫌だったこと含む）など）
- ②高校時代（出身校・部活・打ち込んだこと・感動した経験など（嫌だったこと含む））
- ③大学生活について（選択領域・所属部活サークル・バイト・打ち込んでいる事等）
- ④自主創造の基礎 ○○先生（先生及びクラスの感想）
- ⑤基礎演習Ⅰ（前期） ○○先生（先生及びゼミの感想）
- ⑥基礎演習Ⅱ（後期） ○○先生（先生及びゼミの感想）
- ⑦大学で楽しい授業 ○○先生（授業科目名・理由）
- ⑧大学生活・大学での一週間のスケジュール（例）
- ⑨あなたの将来設計

社会が「標準」として押し付けてくる就職・結婚・出産・子育て・介護等と仕事等含めて（そのような選択をする場合もそうでない場合も含めて）、自分の5年後、10年度、20年後など、どこで、どんな毎日を送っているでしょうか。自由にちょっと夢も含めて語ってみてください。

- ⑩あなたの好きな歌・ダンスや本などを挙げて、それがなぜ、どこ（の部分）が良いのか相手に伝わるように説明してみてください。

2 **課題小論文（3本）** 合計 **40点（25点+10点+5点）**

※以下の字数についてはあくまで目安であり、多い分には自由である。もっとはっきり述べると一定の字数の分量の論文を書けるようになることは社会人として必須の能力であり（その練習をゼミでも行うわけであるが）、入ゼミの段階でも、多い分量の文章（冗長で論理的整合性がとれないものはむしろマイナス）が書けることはプラスに評価する。

- (1) あなたは多様で一人ひとりが安全で安心して暮らせる社会を実現するためにはどのような取組みが必要だと考えますか。論文冒頭に、あなたにとっての安全で安心な社会とはどのようなものであるのかの問題設定をした上で論ぜよ。

[1000字以上] **25点**

※論文のまとめ方としては、①問題提起、②現状、③課題、④解決のための提言、⑤展望という形式でまとめると高得点となる。

※視点としては、国・自治体などの行政の視点、地域・共助の視点、自分だったらという視点について言及すると深みが増す。

- (2) あなたが日ごろ見たり感じているジェンダーに関する景色（人権というテーマに広げてもよい。）について言及し（現状分析）、今後どのような社会にしていきたいか、そのためには自分はどのような役割を果たして行けるのか（提言）について論ぜよ

[800字以上] **10点**]

※授業で紹介した

- ①性的合意（セクシュアル・コンセンスト）のパンフレット

<https://chabujo.com/download/sexual-consent-handbook-dec-2018/?wpdmdl=129&refresh=5da97fd170eec1571389393> や

- ②令和元年版データ「ひとりひとりが幸せな社会のために」（内閣府・男女共同参画推進連携会議）<http://www.gender.go.jp/kaigi/renkei/pamphlet/index.html>

について言及すると高得点となる。

- (3) 行政救済実務ハンドブック 214・214 頁（おわりに）を読み、自らの考えを具体的に述べよ。[600字以上] **5点**]

※坂井聖二先生の言葉について、自らの経験を踏まえて論じると高得点となる。

- (4) その他鈴木秀洋執筆の論文を読み（HP 鈴木秀洋研究室にアップしている）、又は講演会に参加・視聴などを行った場合は、その論文・講演会等の内容に言及し、自らの考えを具体的に述べよ。

[(字数自由) **大いに加点**]